

コミュニティバスの試行運行について

第12回品川区地域公共交通会議資料
(令和8年7月23日)

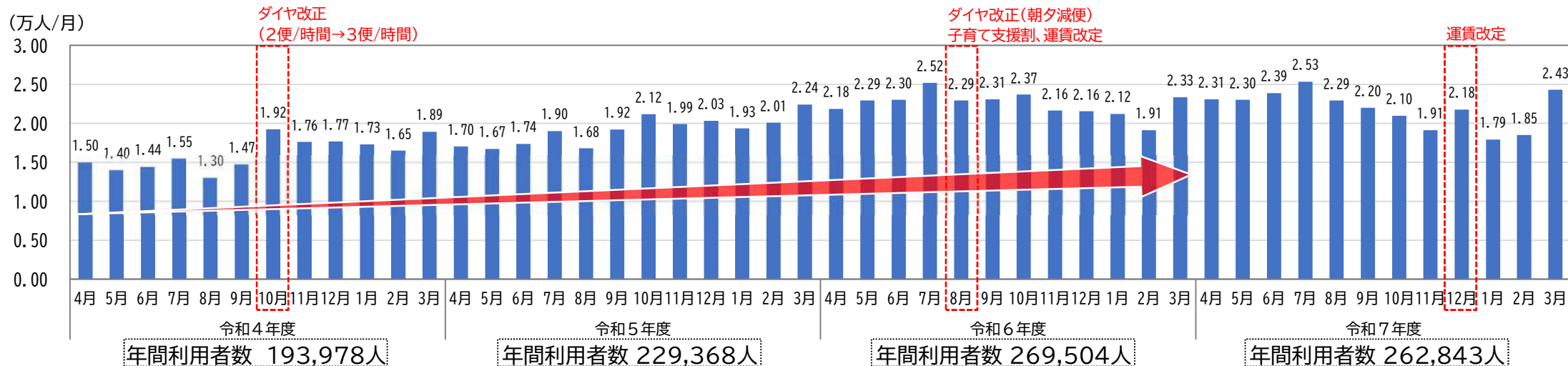
(目次)

1. これまでの運行実績について

1. これまでの運行実績について

(1)利用者推移

- 令和3年2月に策定した「品川区コミュニティバス導入計画」に基づき、令和4年3月28日からしなバスの試行運行を開始。
- 令和4年10月のダイヤ改正や令和6年8月の子育て支援割導入など、利用者の増加に向けた施策を実施。
- 年間利用者数は堅調に推移しており、令和7年度は約26万人が利用。



(2)運行経費および収支率

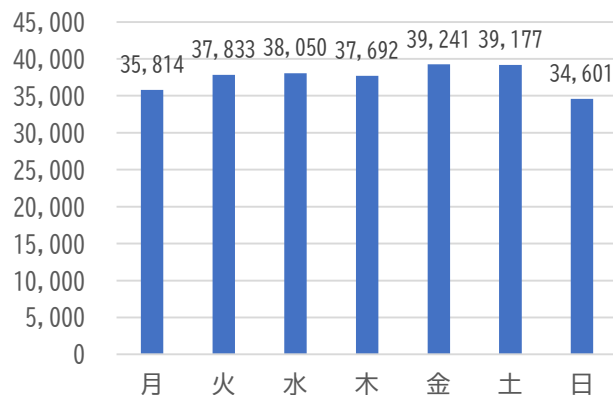
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
運行経費 (A)	約6,340万円	約8,420万円	約8,310万円	約8,720万円
運賃収入等 (B)	約1,840万円	約2,516万円	約3,010万円	約3,090万円
区支出額 (C)=(A)-(B)	約4,500万円	約5,900万円	約5,300万円	約5,630万円
収支率 (D)=(B)/(A)	29.0%	29.9%	36.2%	35.4%
【参考】シルバーパス分収入換算収支率	59.7%	53.6%	66.1%	61.8%

- 令和7年度運行経費は、人件費等の上昇により増加している。
- 令和7年度運賃収入は、運賃改定により増加している。
- 収支率は改善傾向ではあるが、評価基準の50%には達していない。

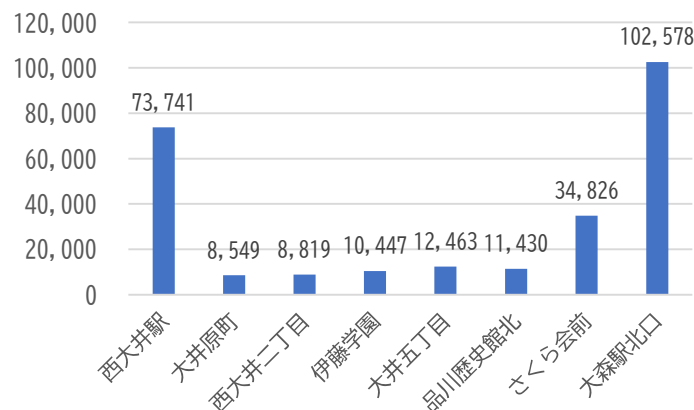
1. これまでの運行実績について

(3) 利用状況

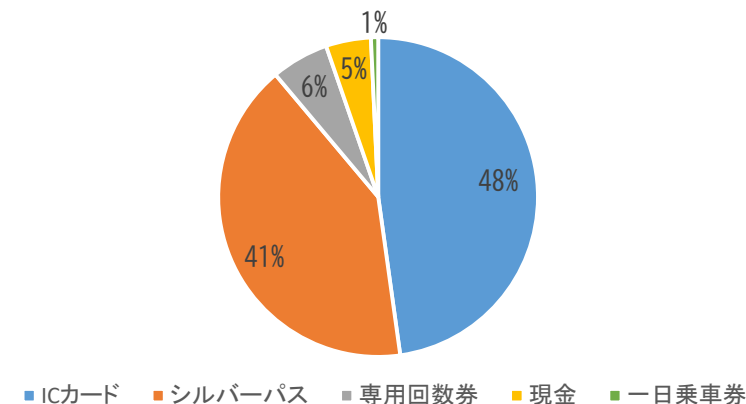
■R7曜日別利用者数



■R7停留所別乗車人数



■R7支払方法別利用者数



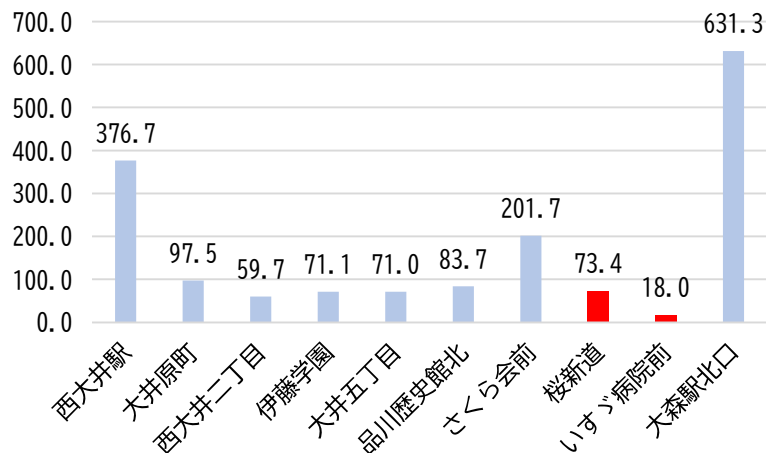
- 金曜日の利用者数が最も多く、日曜日が最も少ない。

- 駅前の乗り場から乗車する利用者が突出して多い。
- 駅前以外の乗り場では、さくら会前から乗車する人が比較的多い。

- 約4割がシルバーパス利用者である。
- 現金利用者は全体の約5%である。

(4) 新規バス停乗降人数データ ※センサーデータのため参考値

■既存バス停と比較した1日平均乗降人数(5月15日(金)～6月7日(日)までの平均値)



- 桜新道は、さくら会前を除く他の中間バス停と同程度利用されている。
- いすゞ病院前は西大井駅方面のみの停車ということもあり、利用は少ない。

(5) まとめ

- 年間利用者数について、令和6年度までは順調に増加していたが、令和7年度は令和6年度と比較して微減した。
- 収支率についても同様の傾向であり、令和7年度は35.4%となっている。
- 一方、運行改善策として、令和8年5月15日より追加したバス停(桜新道、いすゞ病院前)について、短期間ではあるが一定の利用が見られた。



バス停の追加により、利用者数の増加が期待されるが、引き続き周知や広報活動を実施し、利用促進をはかっていく。